

## プラン5 憩いとうるおいの環境づくり

### アクションプログラム

#### 緑の基本計画（かわさき緑の30プラン）を社会状況の変化を踏まえ改定

##### 【主な実施結果】

- ・2007年度末に行政計画として改定緑の基本計画を策定しました。また、その実現性を高いものとするため緑の実施計画を作成しました。

##### 【課題と第2期実行計画における取組】

第2期実行計画においては、改定した緑の基本計画の施行により、都市公園の整備、緑地の保全、緑化の推進など緑に関する施策を総合的に推進します。

#### 緑の保全と育成

##### 【主な実施結果】

##### 斜面緑地の保全に向けて特別緑地保全地区の指定等を推進

- ・特別緑地保全地区の指定等、恒久的な保全を着実に推進しました。そのため地権者の理解と協力を得ながら、種地となる緑地保全協定地の拡大を図り緑地保全施策の推進を図りました。
- ・多摩丘陵に残された斜面緑地の保全のため、特別緑地保全地区・緑の保全地域の指定約35ha、用地取得約14ha等を行いました。

##### 保全緑地の適正管理のために、市民との協働による保全管理計画の策定

- ・保全緑地については、地域住民の意見を基に緑の将来像を決めて保全管理計画を策定し、地域住民のボランティアとの協働による保全管理活動を進めています。
- ・「保全管理計画」を新たに7地区で策定しました。

##### 黒川地区農業公園の整備

- ・農業公園づくり事業の拠点施設である大型農産物直売所の建設に向けた協議を行いました。明治大学農学部実習農場設置計画案を受けて、開発に係わる協議を関係部局と実施しました。また、「農の寺子屋」、「里地づくり体験学校」といった人材育成に資する研修を開催しました。

##### 【課題と第2期実行計画における取組】

第2期実行計画においても、引き続き緑地保全施策を推進するとともに、黒川地区農業公園の整備に向け、明治大学や市民等と連携して取り組みます。

#### 魅力ある公園緑地の整備

##### 【主な実施結果】

##### 生田緑地の整備

- ・ばら苑及び周辺地区の用地4.3haを取得しました。
- ・中央地区の整備として、ばら苑のアプローチや初山地区の広場など約1.7haを整備しました。
- ・生田緑地の価値と魅力の向上及び効果的・効率的な管理運営の構築に向け、「生田緑地運営の基本的な考え方」の素案を取りまとめました。

##### 等々力緑地の整備

- ・等々力陸上競技場の走路等の再整備と、災害時の活動拠点となる中央グラウンドの運動広場や補助陸上競技場等の整備を行いました。また、バス乗降場から陸上競技場へのメインアプローチ整備や競技場のトイレの改修等を行い、サッカー観戦の観客をはじめ、公園利用者の憩いの場として整備しました。

##### 富士見公園周辺地区の整備

- ・「富士見公園の再生」と「市民利用施設等公共施設の再編」に関する整備方針を定めた「富士見周辺地区整備基本計画」を2007年度に策定しました。
- ・コミュニティガーデンをはじめとした環境整備を行いました。

## アクションプログラム

### 東扇島東緑地の整備

- ・東扇島東緑地は、計画どおり2008年3月末に完成しました。この緑地は、市民が海とふれあえる親水性豊かな公園とするため、川崎市で初めての人工海浜や緑に囲まれた快適空間を確保するものとして整備しました。

### 【課題と第2期実行計画における取組】

関係機関との調整に時間を要したことや、関連計画との整合性を図る必要性が生じたため、一部の取組に遅れが生じました。第2期実行計画においては、引き続き、個性と魅力ある公園緑地の整備を推進するとともに、「富士見周辺地区整備実施計画」の策定に向けた取組を進めます。

### 緑化推進重点地区の整備と緑の景観づくりの推進

#### 【主な実施結果】

#### 緑化推進重点地区の整備

- ・川崎駅周辺、小杉、新百合丘の重点地区において、緑化を推進しました。
- ・溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画を策定しました。

#### 視覚効果の高い線的な緑を充実させる緑の景観づくり事業の推進

- ・ばら苑アクセスロード緑化整備など、計10か所において緑の景観づくりの推進を実施しました。

### 【課題と第2期実行計画における取組】

「緑化推進重点地区の整備と緑の景観づくりの推進」については、関連事業の進捗状況や関係機関との調整結果を踏まえ、当初の計画を変更しました。第2期実行計画においては、溝口駅周辺地区緑化推進重点地区の整備の推進とともに新たに2地区の緑化推進重点地区計画の策定を目指します。また、引き続き緑の景観づくりを推進します。

### 協働による憩いとうるおいの環境整備

#### 【主な実施結果】

#### 市民に最も身近な街区公園の樹木剪定や草刈等の管理に加え公園利用調整等の運営を地域住民との協働で行う手法に転換

- ・街区公園を地域で管理するための組織である「管理運営協議会」については、計画期間内での設置数が合計285公園となりました。

#### 緑のボランティア活動を行っている団体を効果的に支援する体制として「緑のボランティアセンター」を設置

- ・2006年4月に、「緑のボランティアセンター」を財団法人川崎市公園緑地協会内に設置しました。

#### 記念植樹等による市民一人ひとりによる緑化運動の取組を推進

- ・毎年市民と協働による植樹イベントを実施するなど、市民による10万本植樹運動を展開しました。実施にあたっては市民・事業者主体の植樹を呼びかけ、3カ年で臨海部と内陸部併せて3万本の植樹を行いました。

### 【課題と第2期実行計画における取組】

管理運営協議会については、制度周知に時間を要し目標数を下回りました。第2期実行計画においては、引き続き、管理運営協議会の設置及びその活動の促進に向けた取組を行うとともに、「緑のボランティアセンター」については、機能充実を図っていきます。また、市民一人一人の植樹運動については、「市民による10万本植樹事業」を改定された「緑の基本計画」に位置付け、継続して取り組んでまいります。

## 施策計画

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
アクションプログラム：緑の基本計画（かわさき緑の30プラン）を社会状況の変化を踏まえ改定					
かわさき緑の30プランの改定 美しい国づくり政策大綱や景観緑三法の制定など、緑を取り巻く社会的情勢が大きく変化していることから、緑の基本計画（かわさき緑の30プラン）を改定します。	(かわさき緑の30プラン) 計画の推進	緑の基本計画 改定準備 (素案づくり)	改定		
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 6	緑の基本計画の改定については、「緑をとりまく社会情勢が広範である」との意見から環境審議会での審議に時間を要しましたが、行政計画として2007年度に改定緑の基本計画を策定しました。また、その実現性を高いものとするため緑の実施計画を作成しました。 【変更後の目標】 2007年度 緑の基本計画の改定			
アクションプログラム：緑の保全と育成					
緑地保全の推進 多摩丘陵に残された斜面緑地の保全施策を積極的に進めます。(特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定、用地取得、緑地整備)	(地区等指定) 62ha (用地取得) 22ha	新規指定 9ha 71ha 新規指定 2ha 24ha	新規指定 9ha 80ha 新規指定 2ha 26ha	新規指定 9ha 89ha 新規指定 2ha 28ha	9ha/年指定 2ha/年取得
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 3	特別緑地保全地区、緑の保全地域の指定を新たに約35ha行いました。用地取得を新たに約14ha行いました。			
保全緑地の適切な維持管理 保全施策の講じられた緑地の適切な管理を推進するとともに、その推進にあたっては、植生管理や防災面も含め、市民協働を基本として推進します。	(保全管理計画) 7地区策定	新規指定 2地区 9地区	新規指定 2地区 11地区	新規指定 2地区 13地区	2地区/年策定
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	ワークショップを開催し、7地区の保全管理計画を策定しました。保全緑地の適切な維持管理に向け、支援・協力する市民「緑レンジャー」に緑地内の危険な樹木や地形の調査等を依頼し、この調査結果を受けて伐採等の対応を行いました。また、「里山ボランティア育成講座」を公園緑地協会と開催しました。			
黒川地区農業公園の整備 麻生区黒川地区の地域資源を活かしながら、計画区域内に進出する明治大学と連携して、農業を中心とした地域振興と市民に農環境とのふれあいを提供する場づくりを推進します。	農業公園づくり 事業の推進	計画区域内における用地取得 農業基盤整備 体験型農園普及			農を活かした 地域の活性化
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	学校法人明治大学が2004年度に用地取得し、2012年4月の開設に向け、開発許可に伴う諸条件の調整を行いました。農業基盤整備体験型農園普及については、農地所有者が共同して農地造成を行い、その一部で農園を開設しすでに利用されています。計画期間内に農協が大型農産物直売所の建設を決定し2008年3月に竣工しました。			

進捗状況区分の内容については33ページをご参照ください。

## 施策計画

事業名	現状	目標				
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降	
農ある風景の保全 市境の市街化調整区域内の斜面緑地の保全を農業振興施策と連携して推進します。	黒川・早野・岡上	グリーンツーリズム、里地・里山環境学習の場づくりの推進				
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	「里地・里山ミュージアム構想」に基づき、黒川・早野のアクションプランの方向性を検討しました。「農の新生プラン」、「森林整備計画」等に基づき森林の保全等に努めました。				

### アクションプログラム：魅力ある公園緑地の整備

生田緑地の整備 本市最大の緑の拠点施設として、中央地区に引き続き、ばら苑及び周辺地区、東生田2丁目地区の用地取得、施設整備を進めます。	(中央地区の整備)	新規	0.9ha	新規	0.4ha	新規	0.5ha	整備推進 ばら苑及び周辺地区の整備
	(整備済み面積) 117.4ha (ばら苑及び周辺地区の用地取得済み面積) 3.1ha		118.3ha 4.4ha		118.7ha 6.2ha		119.2ha 7.4ha (用地取得完了)	
				(効率的・効果的な管理運営の推進) 管理運営上の課題、回遊性に関する課題整理		基本方針の策定 回遊性調査検討		事業推進
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	中央地区の整備として、ばら苑のアプローチや、初山地区の整備など1.7haを行い、整備済み面積は119.1haとなりました。 また、ばら苑及び周辺地区の用地取得についても計画通り用地取得済み面積が7.4haとなりました。 生田緑地の価値と魅力の向上及び効果的・効率的な管理運営の構築に向けた取組の基本指針となる「生田緑地運営の基本的考え方」の素案を取りまとめました。						

生田緑地ばら苑の活用 市民ボランティアと協働して、苑内のバラを良好な状態に育成し、春と秋の年2回、広く市民に開放します。	(ばら苑入場者)	54,345人	60,000人/年	65,000人/年	70,000人/年	100,000人/年 をめざす
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ボランティアとの協働により、ばら苑のバラを育成しました。</li> <li>毎年、春と秋の2回のばら苑の一般開放に、計画期間中延べ206,501人の入場がありました。</li> </ul>				

向ヶ丘遊園跡地の活用 向ヶ丘遊園跡地について、最大地権者である小田急電鉄(株)との緑の保全と市民開放に向けた協議等に取り組みます。	協議・調整・土地利用方針の決定	土地利用計画等の検討	土地利用計画策定 都市計画決定区域の変更	土地利用計画に基づく環境整備の推進	緑の保全と市民開放
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 4	向ヶ丘遊園跡地の活用については、小田急電鉄株式会社と協議調整を行い、小田急電鉄株式会社から「向ヶ丘遊園跡地利用に関する基本計画」が発表されましたが、その後、関係機関との調整等に時間がかかっていることもあり、スケジュールとして遅れが生じています。			

# 施策計画

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
<p>等々力緑地の整備</p> <p>水と緑の自然的環境のもと、スポーツ・レクリエーションの拠点施設及び災害時の広域避難場所として整備を進めます。また、Jリーグの川崎フロンターレは、等々力陸上競技場をホームスタジアムとしていことから、施設整備などの面からも支援を行います。</p>	<p>(中央グラウンド広場整備)</p> <p>暫定供用 (整備済み面積) 32.5ha</p> <p>(施設整備)</p>	<p>新規 1.0ha</p> <p>33.5ha</p> <p>臨時駐車場整備 プール前広場整備 等</p>	<p>新規 1.6ha</p> <p>35.1ha</p> <p>陸上競技場ゴール裏スタンド改修 等</p>	<p>(整備完了) 新規 1.5ha</p> <p>36.6ha</p> <p>陸上競技場ナイター照明補修 等</p>	整備推進
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 1</p>	<p>中央グラウンド広場整備については、運動広場の整備、日本陸上選手権大会に合わせた補助陸上競技場の整備などを行いました。等々力緑地全体の整備としては周辺施設整備と合わせ整備済み面積が36.5haとなりました。また、フロンターレ支援として競技場の照明施設の増設や、トイレのリフレッシュなどの施設整備を行いました。</p>				
<p>富士見周辺地区の整備</p> <p>富士見公園及び周辺市民利用施設の今後のあり方を踏まえた整備に向けて、富士見周辺地区整備基本計画を策定します。また、公園ホームレス対策型シェルターの整備にあわせて、富士見公園の環境整備を行います。</p>	<p>(富士見周辺地区整備基本計画)</p> <p>(シェルターの整備)</p> <p>整備計画検討 (富士見公園の施設整備)</p> <p>整備計画検討</p>	<p>素案見直し検討</p> <p>施設整備</p> <p>基本計画策定 ・実施設計</p>	基本計画策定	取組推進	整備推進
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 4</p>	<p>公共建築物の耐震化など関連計画との整合性を図る必要性が生じたため、2006年度に策定を予定していた基本計画を2007年度に策定しました。地域共同の庭として、地域住民や学童、シェルター利用者などが、花や農作物をつくることで、地域の活動や世代を超えたコミュニティを構築することなどを目標としたコミュニティガーデンの施設整備を2006年度に実施しました。</p>				
<p>東扇島東緑地の整備</p> <p>東扇島東緑地の整備を国直轄事業により推進し、市民などへ親水性のある豊かな緑地空間を提供します。</p>	整備着工	整備推進	→	人工海浜を有する 港湾緑地の 整備完了	
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 1</p>	<p>東扇島東緑地は、計画どおり2008年3月末に完成しました。この緑地は、市民が海とふれあえる親水性豊かな公園とするため、川崎市で初めての人工海浜や緑に囲まれた快適空間を確保するものとして整備しました。</p>				
<p>アクションプログラム：緑化推進重点地区の整備と緑の景観づくりの推進</p>					
<p>緑化推進重点地区の整備</p> <p>本市の顔となる拠点を緑化推進重点地区として指定し、面的な緑化の推進を図ることで、花と緑を基調とした魅力あるまちづくりを推進します。</p>	<p>(重点地区整備)</p> <p>川崎駅周辺 小杉 新百合丘</p>		→	3地区整備完了	整備推進
<p><b>実施結果</b></p> <p>進捗状況区分 6</p>	<p>川崎駅周辺地区、小杉地区、新百合丘地区の緑化推進重点地区において緑化施策を推進しました。また、新たな緑化推進重点地区計画の策定については、緑の基本計画の改定など関連事業の進捗状況を踏まえ、1地区について策定することとし、2007年度に溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画を策定しました。</p> <p>[変更後の目標] 2007年度 新たな地区の計画策定 1地区</p>				

進捗状況区分の内容については33ページをご参照ください。

# 施策計画

事業名	現状	目標			
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度以降
緑の景観づくり 視覚効果の高い緑化手法を用いて、緑の軸線強化とイメージアップを図るため、市民、事業者と協働して緑の景観づくりを推進します。	(緑の景観づくり実施箇所) 5か所 (川崎・中原・高津・宮前・麻生)	新規 2か所	新規 3か所	新規 5か所	2008年度完了 3か所 (全18か所)
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 6	当初計画の実現性を踏まえ、関係機関と調整し、事業箇所の見直しを行いました。市民、事業者との協働により、2007年度までに10か所について緑の景観づくりの推進を実施しました。 【変更後の目標】 2005年度 新規 1か所 / 2006年度 新規 2か所 / 2007年度 新規 2か所			

## アクションプログラム：協働による憩いとうるおいの環境整備

市民との協働による公園の維持管理 地域の課題は地域で解決するという考え方のもと、市民にとって身近な街区公園の地元管理に向けて管理運営協議会を組織し、活動を促進します。	(管理運営協議会の拡大) 設置公園数 7公園	新規 70公園 77公園	緑のボランティアセンター設置 新規 130公園 207公園	新規 200公園 407公園	全街区公園(約800か所)で展開
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 4	管理運営協議会の設置については、公園愛護活動に意欲的な地区では早期に設立しましたが、その他多くの地区では、この制度について理解を得るために更に時間を要するため、計画期間内での設置数は合計285公園となりました。また、緑のボランティアセンターについては、2006年度に設置し、翌2007年度には貸し出し用道具や図書の実用など機能強化を行いました。			

市民との協働による緑化の推進 緑豊かなまちづくりを創出するため、屋上・壁面緑化などさまざまな手法を活用し、市民・事業者と協働のもと緑化を推進します。	(屋上緑化面積) 1,506㎡	新規 1,500㎡	新規 1,500㎡	新規 1,500㎡	制度普及
(緑の活動団体登録) 164団体	185団体	200団体	215団体		
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	3ヵ年で民間施設における屋上緑化約3,700㎡に対して助成しました。また、緑の活動団体登録数は217団体となるなど、おおむね計画通り進捗しました。「緑化推進リーダー育成講座」、「里山ボランティア育成講座」を開催しました。また、「ガーデナー認定試験」、「わがまち花と緑のコンクール」等を実施するなど、市民との協働による緑化推進に向けた人材育成を進めました。			

桜川公園・御幸公園のリフレッシュ 1971年以前に開設され、老朽化した近隣・地区公園を市民の参画により整備計画を策定し、新たな公園に再生します。	完成2公園	桜川公園整備(完成) 御幸公園実施設計	整備着手	→	2010年度 御幸公園整備完了
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 6	桜川公園は2005年度に整備を完成しました。御幸公園については、2006年度より整備に着手し、野球場の整備を行いました。国のスーパー堤防事業の関係から2007年度に整備が行えず、一年間時期がずれており、2011年度に完成する見込みとなっております。 【変更後の目標】 2007年度 照明塔改築設計			

市民緑化運動の推進 憩いとうるおいのあるまちづくりに向け、記念植樹の展開など、市民一人ひとりの手による緑化運動を推進します。	思い出記念樹の配布	緑化運動を推進 普及広報活動の強化・樹種の見直し	→	7区制施行25周年記念として、各区で記念植樹を展開
<b>実施結果</b>	進捗状況区分 1	2005年度より市民一人ひとりの植樹運動の推進に向け「市民10万本植樹」事業を展開し、毎年、啓発のための植樹イベントを実施したほか、川崎みどりの事業所推進協議会と連携した取組により1万本の植樹を実施するなど、3ヵ年で約3万本の植樹を実施しました。また、市民の生活の節目となる結婚、出産などの記念日に苗木を贈る「思い出記念樹」の配布を実施しました。		